

# 臨時交付金を活用した事業の 実施状況及びその効果に関する公表状況

---

内閣府地方創生推進室

令和5年8月

# 調査概要

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（以下「臨時交付金」）は、新型コロナウイルスの感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援等を通じた地方創生に資する事業に自由度高く活用することが可能であり、各地方公共団体が、地域の実情に応じてきめ細やかに必要な事業を実施されるよう措置されているものです。

このため、制度創設当初より、臨時交付金を活用して実施した事業の実施状況及びその効果について、事業実施完了後速やかに各地方公共団体において公表するよう要請してきており、過去2回（令和4年5月、令和5年1月）地方公共団体の公表状況を調査した結果をとりまとめて公表してきたところです。

今般、その後の進捗状況を把握するため、改めて調査を行うこととしました。

- ・ **調査対象**：臨時交付金を活用し事業を実施している全地方公共団体（1,788団体）
- ・ **回収率**：1,788/1,788団体（100%）
- ・ **調査時点**：令和5年6月1日時点
- ・ **調査項目**：調査要領参照

調査要領

臨時交付金を活用した事業の実施状況とその効果の公表状況について、令和5年6月1日時点でご回答ください。

(1) 令和2年度に完了した事業のうち臨時交付金を活用した事業

①事業の実施状況の公表状況

対象事業の公表状況について、以下の選択肢から回答ください。

- 1. 対象事業の全部について、実施状況を公表済み
- 2. 対象事業の一部について、実施状況を公表済み
- 3. 公表していない

②事業の効果の公表状況

対象事業の公表状況について、以下の選択肢から回答ください。

- 1. 対象事業の全部について、効果を公表済み
- 2. 対象事業の一部について、効果を公表済み
- 3. 公表していない

③上記①、②において1又は2のいずれかを選択された場合、その公表方法及び公表内容について、該当するものを以下から選択してください。〈複数選択可〉

【公表方法】

・地方公共団体のホームページ ・広報紙 ・その他

※ホームページを選択した場合は、そのURLを記載下さい。  
※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表方法を記載下さい。

【公表内容】

・事業名	・事業概要	・事業期間
・実施計画に記載の総事業費	・実施計画に記載した交付金関連事業費	
・事業の進捗状況・経過等	・臨時交付金充当実績	
・成果目標	・事業実施による成果	
・事業実施による感染防止効果	・事業実施による経済効果	
・成果目標の達成状況		・その他

※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表内容を記載下さい。

④上記①において2又は3を選択された場合、全部又は一部の事業の実施状況について、昨年度中に公表に至らなかった理由及び公表予定時期を回答ください。

⑤上記②において2又は3を選択された場合、全部又は一部の事業の効果について、昨年度中に公表に至らなかった理由及び公表予定時期を回答ください。

(2) 令和3年度に完了した事業のうち臨時交付金を活用した事業

①事業の実施状況の公表状況

対象事業の公表状況について、以下の選択肢から回答ください。

- 1. 対象事業の全部について、実施状況を公表済み
- 2. 対象事業の一部について、実施状況を公表済み
- 3. 公表していない

②事業の効果の公表状況

対象事業の公表状況について、以下の選択肢から回答ください。

- 1. 対象事業の全部について、効果を公表済み
- 2. 対象事業の一部について、効果を公表済み
- 3. 公表していない

③上記①、②において1又は2のいずれかを選択された場合、その公表方法及び公表内容について、以下の選択肢から回答ください。

【公表方法】

- 1. (1)③の回答(令和2年度事業)と同じ
- 2. (1)③の回答と異なる場合、以下から選択〈複数選択可〉  
・地方公共団体のホームページ ・広報紙 ・その他

※ホームページを選択した場合は、そのURLを記載下さい。  
※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表方法を記載下さい。

【公表内容】

- 1. (1)③の回答(令和2年度事業)と同じ
- 2. (1)③の回答と異なる場合、以下から選択〈複数選択可〉  
・事業名 ・事業概要 ・事業期間  
・実施計画に記載の総事業費 ・実施計画に記載した交付金関連事業費  
・事業の進捗状況・経過等 ・臨時交付金充当実績  
・成果目標 ・事業実施による成果  
・事業実施による感染防止効果 ・事業実施による経済効果  
・成果目標の達成状況 ・その他

※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表内容を記載下さい。

④上記①において2又は3を選択された場合、実施状況の公表に向けた検討状況について、以下の選択肢から回答ください。

- 1. 令和5年度中の公表に向けて検討中又は検討予定
- 2. 令和6年度以降の公表に向けて検討予定
- 3. 公表を予定していない

⑤上記②において2又は3を選択された場合、全部または一部の事業の効果が未公表の主な理由及び公表に向けた検討状況について、以下の選択肢から回答ください。

【未公表の主な理由】

- 1. 事業は完了しているが、その効果の発現に時間を要するため
- 2. 事業は完了しているが、令和4年度以降も関連する事業を実施しており、全て完了してからでないと効果の測定ができないため
- 3. その他

※その他を選択した場合は、自由記述欄にその主な理由を記載下さい。

【公表に向けた検討状況】

1. 令和5年度中の公表に向けて検討中又は検討予定
2. 令和6年度以降の公表に向けて検討予定
3. 公表を予定していない

(3) 令和4年度に完了した事業及び令和5年度に繰り越した事業のうち臨時交付金を活用した事業

① 事業の実施状況の公表状況

対象事業の公表状況について、以下の選択肢から回答ください。

1. 対象事業の全部について、実施状況を公表済み
2. 対象事業の一部について、実施状況を公表済み
3. 公表していない

② 上記①において1又は2のいずれかを選択された場合、その公表方法及び公表内容について、以下の選択肢から回答ください。

【公表方法】

1. (1)③の回答(令和2年度事業)と同じ
2. (2)③の回答(令和3年度事業)と同じ
3. 1、2以外の場合、以下から選択<複数選択可>  
・地方公共団体のホームページ ・広報紙 ・その他

※ホームページを選択した場合は、そのURLを記載下さい。

※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表方法を記載下さい。

【公表内容】

1. (1)③の回答(令和2年度事業)と同じ
2. (2)③の回答(令和3年度事業)と同じ
3. 1、2以外の場合、以下から選択<複数選択可>  
・事業名 ・事業概要 ・事業期間  
・実施計画に記載の総事業費 ・実施計画に記載した交付金関連事業費  
・事業の進捗状況・経過等 ・臨時交付金充当実績  
・成果目標 ・事業実施による成果  
・事業実施による感染防止効果 ・事業実施による経済効果  
・成果目標の達成状況 ・その他

※その他を選択した場合は、自由記述欄にその公表内容を記載下さい。

③ 上記①において2又は3を選択された場合、実施状況の公表に向けた検討状況について、以下の選択肢から回答ください。

1. 令和5年度中の公表に向けて検討中又は検討予定
2. 令和6年度以降の公表に向けて検討予定
3. 公表を予定していない

# 1. 事業の実施状況の公表に関する調査結果

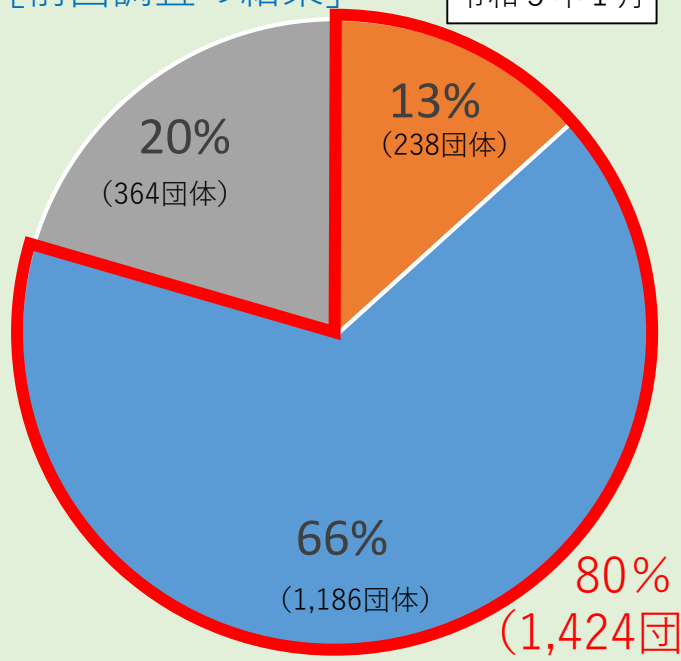
令和2年4月1日以降に臨時交付金を活用した全事業を対象とし、実施状況の公表について調査

対象事業の全部又は一部の実施状況を公表している地方公共団体は94%（1,680団体）となっており、前回調査時点（令和5年1月）の80%から増加。

n=1,788

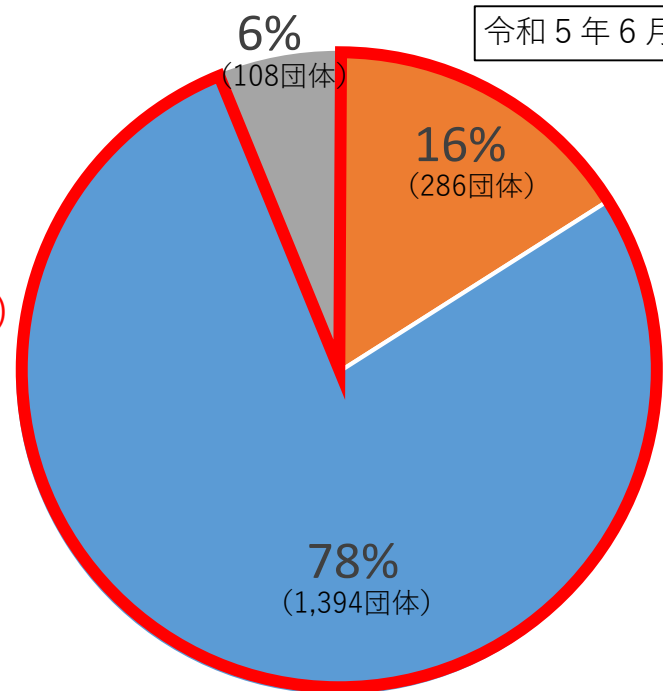
[前回調査の結果]

令和5年1月



令和5年6月

94%  
(1,680団体)



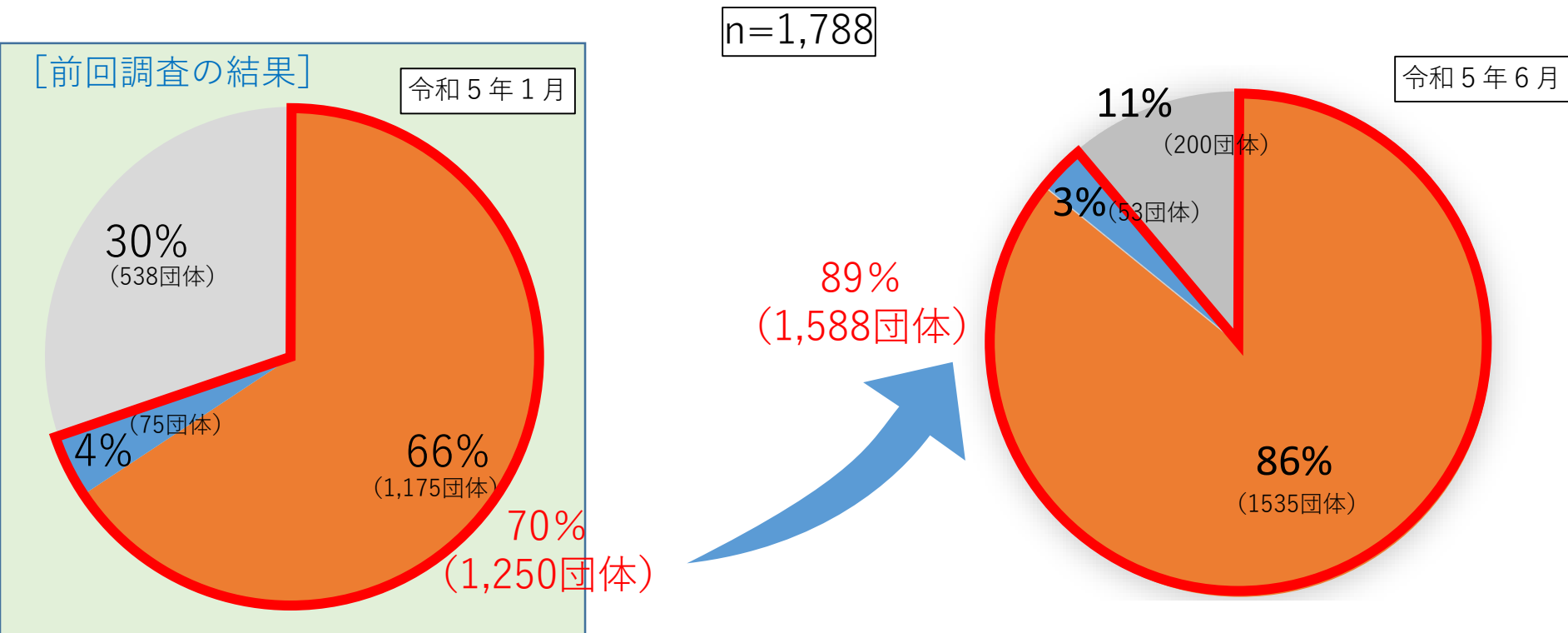
- 対象事業の全部について、公表済み
- 対象事業の一部について、公表済み
- 公表していない

※一部公表済みの1,394団体のうち88%（1,222団体）は「令和4年度完了事業及び令和5年度に繰り越した事業」の令和5年度中の公表を検討

## 2. 事業効果の公表に関する調査結果

(1) 令和2年度に完了した事業を対象とし、事業効果の公表について調査

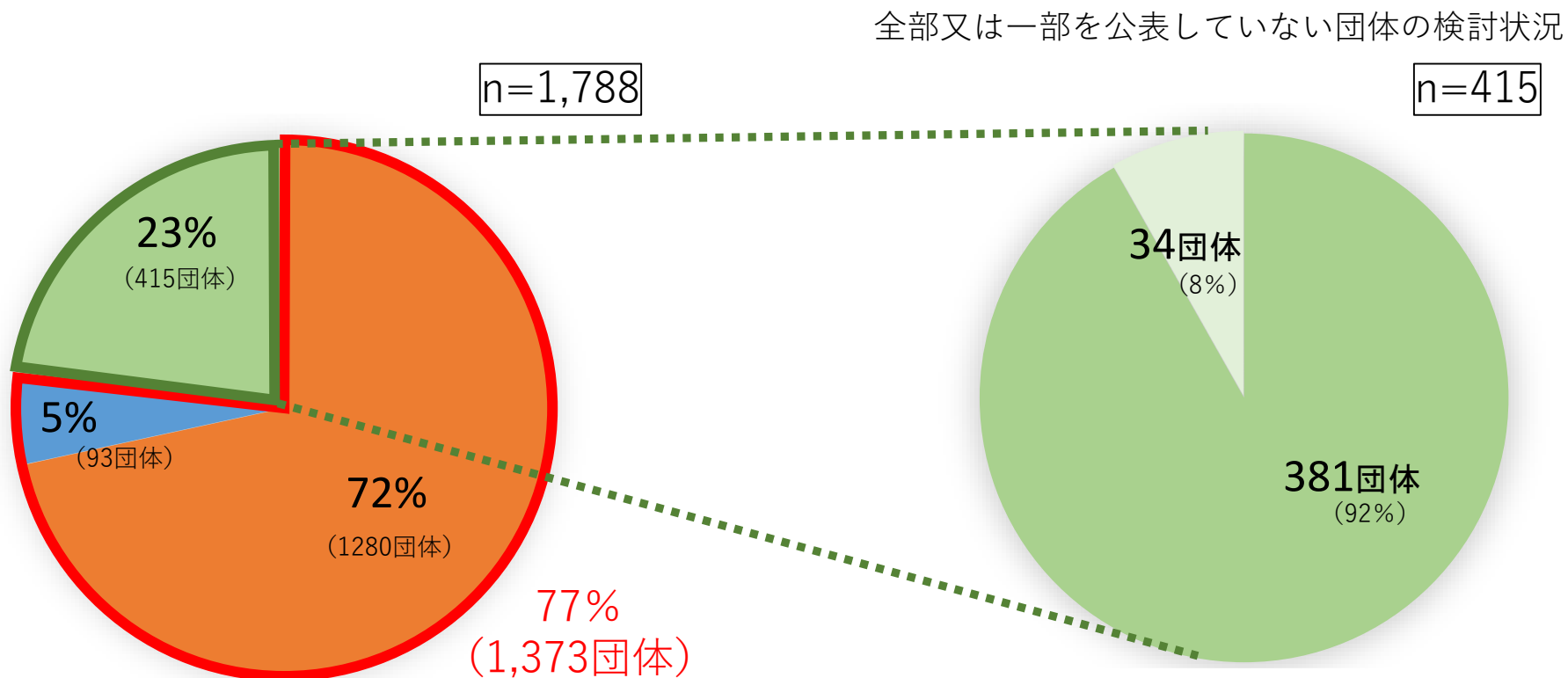
令和2年度に完了した事業の全部又は一部について、効果を公表している地方公共団体は89% (1,588団体) となっており、前回調査時点 (令和5年1月) の70%から増加。



- 令和2年度に完了した事業の全部について、公表済み
- 令和2年度に完了した事業の一部について、公表済み
- 公表していない

(2) 令和3年度に完了した事業を対象とし、事業効果の公表について調査

令和3年度に完了した事業の全部又は一部について、効果を公表している地方公共団体は77% (1,373団体)。公表していない団体の90%は令和5年度中の公表を検討。



- 令和3年度に完了した事業の全部について、公表済み
- 令和3年度に完了した事業の一部について、公表済み
- 公表していない

- 令和5年度中の公表に向けて検討中又は検討予定
- 令和6年度以降の公表に向けて検討予定

# 3. 公表方法、公表内容に関する調査結果

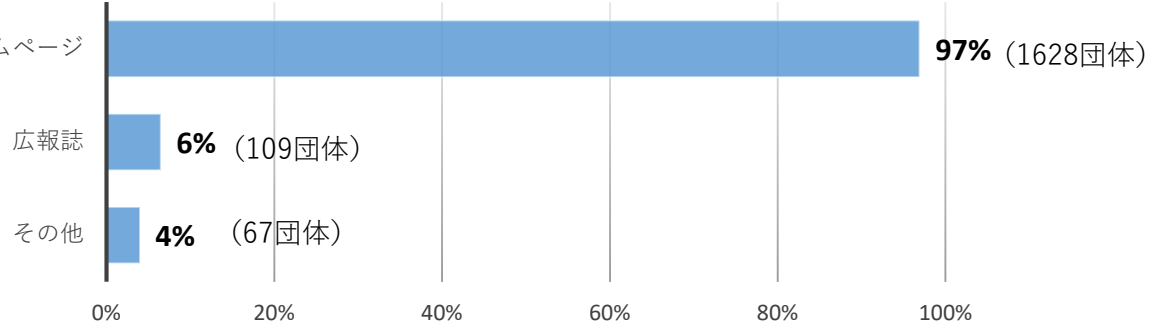
令和2年4月1日以降に臨時交付金を活用した事業について、全部又は一部の公表を行っている団体のほぼ全てが、ホームページを活用している。

公表内容は、事業の実施状況や事業効果の検証に関するものとなっており、成果目標の達成状況等を踏まえ、事業の課題や今後の方向性についても検証している事例がみられた。

n=1,680

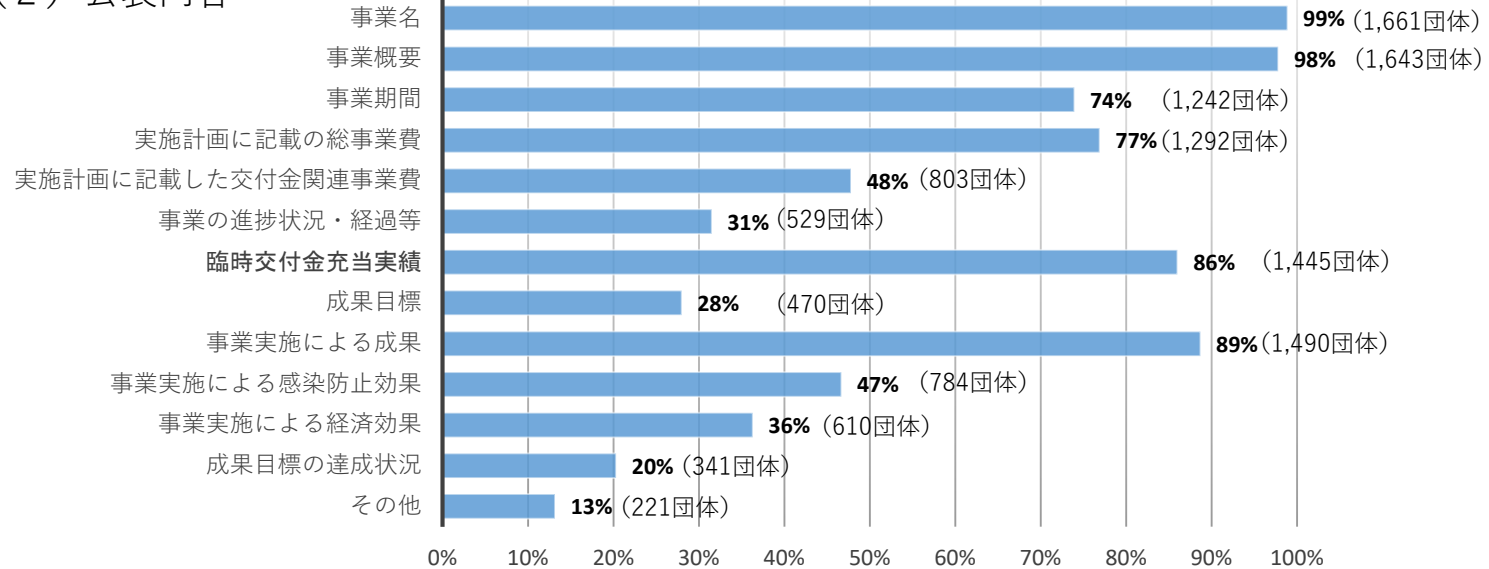
## (1) 公表方法

地方公共団体のホームページ



その他の回答例  
・議会、委員会資料  
・決算関連資料  
など

## (2) 公表内容



その他の回答例  
・事業の課題  
・事業の今後の方向性  
・経済対策との関係  
など



## 4. 公表例（特徴的な評価・公表）

臨時交付金を活用した事業の実施状況及びその効果に関する特徴的な評価・公表について調査

### 特徴的な評価・公表の指針

感染症対策等に係る  
効果・課題等を「見える化」  
した評価・公表の実施



- 事業分野別の事業数・充当額を公表し交付金使途の全体像を「見える化」
- 中長期的な効果最大化に向け、交付金事業実施による今後の課題を整理
- 感染症対策、事業者支援等に係る取組全般の成果を全的に検証

事業単位の  
定量的評価・公表の実施



- 事業費の活用実績やアウトプット・アウトカム定量実績を公表（成果目標を設定している場合は達成状況も公表）
- 評価を5段階などで定量化し、事業ごとの相対的な比較検証がしやすい形で公表

外部主体（有識者・委員会）  
による評価・公表の実施



- 議会での審議に限らず、地域の民間事業者等で組成された外部委員会等を設置し第三者による事業評価を実施
- 住民や関係団体へのアンケート等を活用して、事業の効果を把握・公表

### 公表例

大分県（👉P9）、岐阜県可児市（👉P10）、三重県度会町（👉P11）、長野県諏訪市（👉P12）

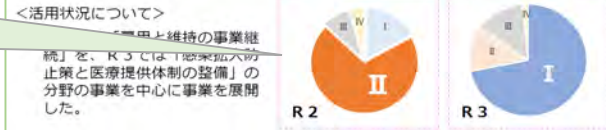


## 評価・公表の「見える化」

対策分野ごとに事業費等の割合をグラフや表を用いて全体像を「見える化」

グラフ化して年度ごとの変化を示すことで、臨時交付金の使途を住民にわかりやすく伝える工夫がなされている

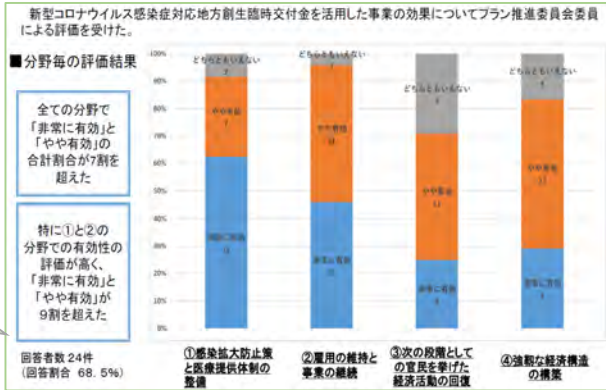
対策分野	R 2 活用状況		R 3 活用状況	
	事業費 (うち交付金)	割合	事業費 (うち交付金)	割合
I 感染拡大防止策と医療提供体制の整備	7,899,860千円 (2,554,302千円)	16.8%	20,471,498千円 (15,410,250千円)	71.9%
II 雇用の維持と事業の継続	33,031,147千円 (13,431,460千円)	70.4%	3,757,411千円 (3,738,589千円)	13.2%
III 次の段階としての官民を挙げた経済活動の回復	4,074,879千円 (3,632,338千円)	8.7%	3,860,687千円 (2,396,453千円)	13.5%
IV 強靱な経済構造の構築	1,947,794千円 (1,897,388千円)	4.1%	398,070千円 (299,978千円)	1.4%
合計	46,953,680千円	100%	28,487,666千円	100%



## 定量的評価・公表

対策分野ごとに事業費割合や委員会の評価を数値化又は定量化して公表

委員の指摘をそのまま載せるだけでなく、定量化してグラフに示すことができている



## 外部主体による評価・公表

外部委員による事業の有効性評価と指摘を公表

外部主体による評価にとどまらず、それを受けた県としての考え方及び今後の方針についても住民に示すことができている

分野	事業名	プラン推進委員会委員からの指摘等	意見に対する県の考え方
I	感染拡大防止策と医療提供体制の整備	基本的に、感染予防対策など、県民が不安を抱える中、大きな安心をもたらす取り組みが有効だったと思います。ですが、高齢者やひとり暮らしの方など、なかなか行動しづらい状況です。もう少し地域に密着した見守り・取組ができればいいと思います。県政や買い物などは不便で困っています。行政のみならずコロナ対策に一層一層と支援を、密着した見守り・取組ができればいいと思います。	人口減少や高齢化の進行、コロナの影響による孤独・孤立問題が顕在化する中、花もが来に変えたい、人と人とのつながりを感じながら、安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現は大変重要です。このため、県では、子どもや高齢者や外国人など、子育て世代や高齢者、障がいのある方など、様々な方が暮らすことのできる地域で展開できるような活動拠点の整備等を支援していく予定です。 また、県内では、住民組織が生活のちょっとした困り事を気軽に受け付ける「住民参加型サービス」の取組が進んでおり、こうしたサービスについても各地で展開されるよう、市町村や社会福祉協議会等と連携しながら、活動組織の立ち上げ等を支援していきます。 さらに、様々な悩みを抱える方々の相談をしっかり受け止め、必要な支援につなぐことができる人材の育成や、市町村における相談体制の整備等についても支援していく予定です。 今後とも、市町村や社会福祉協議会をはじめ、民生委員やNPOなど多様な主体と連携しながら、地域共生社会の実現に向けて、より地域に密着した取組を進めていきます。
II	雇用の維持と事業の継続	実際に時間短縮を守った事業数が多いとはいえないが、守ったことにより感染拡大防止に繋がったのか、実績がわからないので、この事業が守ったばかりは疑問に思っています。これらの課題に少くはなるが、雇用を維持できなかったり、コロナ回復後の人手不足に陥る可能性があることなども懸念しています。しかも、コロナ後にそれらの入出が戻って来る可能性があることが非常に問題だと思っています。	営業時間短縮要請協力金は、5期ごとの累計28,659件、145,789万円を交付し、多くの事業者によって感染拡大防止に繋がった。また、目的の感染拡大防止策が十分に実施され、この時期に営業時間短縮は、飲食・小売業を初めとした感染は確認せず、新規感染数は減少傾向にある。時間短縮による一定の効果はあったと考えています。 コロナ禍で落ち込んだ消費を支えるため、これまで発行総額311億円によるプレミアム商品券事業を市町村と連携して実施しています。引き続き、アフターコロナにおける県経済の好復の回復と活性化を図っていきます。



## 評価・公表の「見える化」

対策分野及び年度ごとに事業を「見える化」

これまで交付金が活用された事業を一覧化してHPに掲載し、交付金がどのように使われてきたか一見してわかる

継続する事業については、それぞれの年度の事業費を併記して経年による規模感がわかるように工夫している



## 定量的評価・公表

事業ごとに事業費や成果について定量的な評価の公表に努めている

事業ごとの「事業効果検証シート」を作成し、それぞれの事業の実施状況及び成果について、事業の対象者からのアンケートも活用して具体的に検証し、公表している

**令和2年度**

- 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付金(第9期)
- GIGAスクール
- プレミアム付K
- GIGAスクール
- 教育事業者向け

**令和3年度**

- 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付金(第10期)
- 子ども、事業者
- 公共施設トイレ
- 小学校職員室
- 中学校スタブ
- 教室感染対策
- ペーパーレス
- 地区センター
- 市民生活
- 外資企業
- 中小企業

**令和4年度**

- 市町40周年記念プレミアムKマネー発行事業 ※繰越事業
- 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付金(第9期)
- 岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付金(第10期)
- 子どもとみせ・生活応援チケット発行事業
- 高齢者生活支援品券配付事業
- 市立小中学校・保育園・幼稚園の給食費の保護者負担増の防止(物価騰貴対応)
- 雇員給料増入緊急支援事業
- 子育て世帯負担軽減給付金事業
- 出産・子育て応援事業(妊婦出産子育て支援交付金)

**令和5年度**

- 施設への物価騰貴対策支援 ※繰越事業
- 物価高騰による生活困窮対策(実施予定)
- 市民生活・中小事業者支援事業(実施予定)
- 市立小中学校・保育園・幼稚園の給食費の保護者負担増の防止(実施予定)

**事業実施状況と事業効果の検証**

事業の実施による事業効果の検証を行いました。  
詳細は添付ファイルをご覧ください。

**添付ファイル**

- 事業実施状況及び事業効果検証報告書(令和2年度・令和3年度)(pdf 298KB)
- 事業実施状況及び事業効果検証報告書(令和2年度・令和3年度) 資料編(pdf 5250KB)
- 事業実施状況及び事業効果検証報告書(令和4年度)(pdf 1132KB)
- 事業実施状況及び事業効果検証報告書(令和4年度)資料編(pdf 1334KB)

事業名	事業費(円)	令和2年度	令和3年度	合計
市町40周年記念プレミアムKマネー発行事業	19,200,000	19,200,000	2,200,000	21,400,000
岐阜県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金交付金(第9期)	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
GIGAスクール	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
プレミアム付K	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
GIGAスクール	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
教育事業者向け	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
子ども、事業者	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
公共施設トイレ	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
小学校職員室	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
中学校スタブ	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
教室感染対策	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
ペーパーレス	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
地区センター	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
市民生活	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
外資企業	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000
中小企業	19,000,000	19,000,000	0	19,000,000



## 評価・公表の「見える化」

年度ごとに事業を「見える化」

これまで交付金が活用された事業を一覧化してHPに掲載し、交付金がどのように使われてきたか一見してわかる



## 定量的評価・公表

事業ごとに事業費や成果について定量的な評価の公表に努めている

事業ごとの「事業報告書」を作成し、それぞれの事業の実施状況及び成果について、実際の事業の様子も画像を交えて公表し、住民にわかりやすく伝える工夫がされている

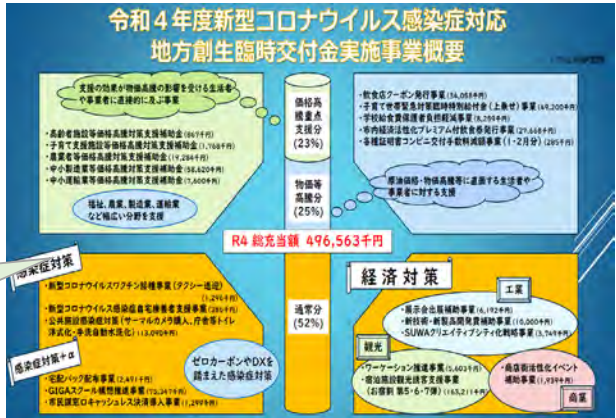
令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書	
事業名	令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 事業報告書
事業の名称	11 保育園整備事業 ぽんぽぽ 保母こども課
事業の概要	<p>&lt;概要&gt;                      コロナ禍の感染リスク低減を目的に、園児が安心安全に過ごせる保育園施設の環境整備として、人が集まり感染リスクが高まる園児保育所遊戯室に空気清浄機4基を配置する。</p> <p>&lt;成果目標&gt;                      ・人が集まる遊戯室への空気清浄機4基設置することで、コロナ感染防止対策を行い、抱っこバスとの交流や、保護者が参加する行事の実施等が可能となる。                      ・園児保育所遊戯室を利用した行事実施 20回以上</p> <p>○事業期間：R4.5～R5.3</p>
経済対策との関係	経済対策との関係
総事業費	2,144千円
交付金総額	1,000千円
事業の実績・成果	<p>&lt;実績&gt;                      ・園児保育所遊戯室に空気清浄機4基を設置し、新型コロナウイルスの感染リスク低減をはかった。</p> <p>&lt;成果&gt;                      ・遊戯室への空気清浄機4基設置することで、コロナ感染防止対策を行い、抱っこバスとの交流や、保護者が参加する行事の実施等が可能となった。                      ・園児保育所遊戯室を複数クラスで利用した行事等実施 30回</p>
事業の様子(写真等)	<p>事業の様子(写真等)</p>



## 評価・公表の「見える化」

事業の概要と全体像について「見える化」

それぞれの事業分野についてまとめ、交付金事業全体における位置付けを一覧化して公表している



## 定量的評価・公表

事業ごとの実績を設定された成果目標に沿って定量的に評価・検証

No.	事業の概要 交付金交付の目的	事業の進捗				事業の状況	事業の成果	事業の検証
		事業の進捗率	事業の進捗率	事業の進捗率	事業の進捗率			
17	「ゼロカーボン」で環境負荷低減を図る小規模事業者の、AIやIoTを活用した生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。	6000	6000	100%	0	0	0	事業の進捗率は100%であり、事業の成果は期待通りであった。
18	「ゼロカーボン」で環境負荷低減を図る小規模事業者の、AIやIoTを活用した生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。	62152	62152	100%	0	0	0	事業の進捗率は100%であり、事業の成果は期待通りであった。
19	「ゼロカーボン」で環境負荷低減を図る小規模事業者の、AIやIoTを活用した生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。また、小規模事業者の生産性向上支援事業(小規模事業者の生産性向上支援事業)の推進を図る。	510	497	97%	0	0	0	事業の進捗率は97%であり、事業の成果は期待通りであった。